

HESS 特別講演会 「水素・燃料電池の規制緩和と安全技術研究」

平成 17 年 10 月 6 日（木）9:45-17:10. 東京都江戸川区船堀・タワーホール船堀

主催:水素エネルギー協会（HESS）

共催:燃料電池実用化推進協議会（FCCJ）。燃料電池開発情報センター（FCDIC）

■HESS 特別講演会の主旨と概要

平成 14 年 2 月の小泉首相による燃料電池実用化宣言以来、規制緩和を推進する関係省庁連絡会議が設置され、燃料電池実用化推進協議会（FCCJ）から規制緩和の要望が出された 6 法律、28 項目について燃料電池自動車、水素インフラ、定置用燃料電池の 3 分野において現行法規の再点検が実施されました。また、規制緩和の裏付けとなる水素の安全性に関する各種の実験を伴う研究が国土交通省、消防庁、経済産業省/新エネルギー・産業技術総合開発機構等の各プロジェクトで行われました。その成果として計画通り 2005 年 4 月から規制緩和が実施されましたので、今回水素・燃料電池に高い関心をお持ちの産業界、学界、自治体等の関係者の方々に下記の内容を詳しく解説し規制緩和と水素の安全性に対する理解を深め、実用化の促進に役立てることを目的とした講演会を開催致します。多数のご参加をお待ちしております。

「講演内容」

- ① 規制緩和への取り組みと見直し作業の概要、規制緩和の内容と期待される効果
- ② 規制緩和の裏付けとなった水素安全の実験研究と調査研究、基準策定等の事例

講師は新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のほか、燃料電池自動車関係、水素インフラ関係、定置用燃料電池関係の見直し作業をまとめられた（社）日本自動車工業会、（財）石油産業活性化センター、（社）日本電機工業会及び基準の策定や安全研究を担当された各機関・企業の方々です。

■日時：平成 17 年 10 月 6 日（木）09：45－17：15 （開場 9：00）

■場所：東京都江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 Tel 03-5676-2111

都営地下鉄新宿線船堀駅前正面（大手町、東京駅から各ルートで船堀駅まで約 30 分）

- ①JR 総武快速線馬喰町下車。駅構内の都営新宿線馬喰横山町駅から船堀駅へ
- ②地下鉄丸の内線で淡路町下車。乗換え徒歩 3 分、都営新宿線小川町駅から船堀駅へ
- ③地下鉄半蔵門線、都営三田線で神保町駅乗換え、都営新宿線で船堀駅へ
- ④JR 総武線本八幡駅乗換え、都営新宿線で船堀駅へ（JR 本八幡駅から 10 分）

■参加料：一般参加者 20,000 円、FCCJ 及び FCDIC 会員 15,000 円、HESS 会員 10,000 円。

■参加料振込先（当日の受付を円滑に行なうため事前に振り込みをお願いします）

- ①郵便振替：口座番号； 00190-3-119581 水素エネルギー協会
- ②銀行振込：りそな銀行等々力支店 口座番号；普通預金 0930893 水素エネルギー協会

■参加申込み：定員：750 名先着順。Fax で下記へお申込み下さい。（添付の参加申込み用紙使用）。

横浜国立大学教育人間科学部谷^{たにしょう}生研究室内 水素エネルギー協会 谷生重晴

Home page: <http://www.hess.jp> E-mail: secretary@hess.jp Tel/Fax No. 045-339-3996

「HESS 水素・燃料電池の規制緩和と安全技術特別講演会」プログラム（仮）

期日：平成 17 年 10 月 6 日（木）． 会場：タワーホール船堀

時間	講演題目	講演者
09:45-09:50	開会挨拶	水素エネルギー協会会長 (横浜国立大学大学院教授) 太田健一郎
09:50-10:20	水素安全利用等基盤技術開発プロジェクト と規制緩和の推進	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 燃料電池・水素技術開発部主任研究員 池谷知彦
10:20-10:50	1.燃料電池自動車の法令見直しへの取組み (高压ガス保安法、道路運送車両法、 道路法、消防法改定の解説を含む)	(社)日本自動車工業会燃料電池自動車分 科会会長(トヨタ自動車FC開発センター FC企画室主査) 河津成之
10:50-11:30	1.1 高压水素容器の安全性研究 (車載用コンポジット水素容器の各種安全 性試験結果とその評価)	(財)日本自動車研究所 FC・EVセンター主席研究員 渡辺正五
11:30-12:00	1.2 高压水素自動車の保安基準・技術基準 (新基準の策定とその内容の解説)	(独)交通安全環境研究所 環境研究領域上席研究員 成澤和幸
12:00-13:15	昼食 休憩	
13:15-13:45	1.3 燃料電池車運搬車両の実大模擬トンネル 内火災実験(各種燃料搭載車の 80m 模 擬トンネル内火災実験と比較評価)	(社)日本建設機械化協会 施工技術総合研究所 研究第一部 専門課長 榎園正義
13:45-14:35	2.水素インフラ関連の法令見直しへの取組 み(高压ガス保安法、建築基準法、消防法改 定の解説を含む)	(財)石油産業活性化センター新燃料部 水素利用推進室長 尾上清明
14:35-15:15	2.1 水素インフラに関する安全技術研究 (事故時の水素の挙動と他への影響等)	三菱重工業(株)技術本部長崎研究所 流体研究室主席研究員 岡林一木
15:15-15:30	休憩	
15:30-16:00	2.2 水素スタンド機器用金属材料の安全研究 (高压水素雰囲気における Cr-Mo 鋼等の金 属材料の水素環境脆性に関する研究)	(株)日本製鋼所室蘭研究所 材料開発グループ研究員 和田洋流
16:00-16:30	定置用燃料電池の法令見直しへの取組み (消防法、電気事業法改定の解説を含む)	(社)日本電機工業会 新エネルギー部課長 井原卓郎
16:30-17:00	定置用燃料電池の安全性研究 (不活性ガス置換時の安全性、燃料電池の温 度上昇試験等)	(社)日本ガス協会 技術開発部 燃料電池・水素プロジェクトグループ 係長 菊沢央忠
17:00-17:05	閉会挨拶	水素エネルギー協会会長 (横浜国立大学大学院教授) 太田健一郎

送り先：水素エネルギー協会事務局（FAX 045-339-3996）

2005HESS 特別講演会参加申込書

☆事務局で参加登録番号を記入し返送いたします。

☆本状が参加証となります。受付で本状と引換えに予稿集をお受け取り下さい。

☆複数人でのご参加の場合は、各人ごとの申込書ご提出をお願いいたします。

（所属・連絡先ご住所等は、代表お一人のみのご記入で結構です）

ふりがな 参加者氏名		登録番号（事務局記入）
該当を○で 囲んでください	<ul style="list-style-type: none"> ・ HESS 会員（団体 / 個人 / 学生会員） ・ 共 催（FCCJ / FCDIC） ・ 一 般 	
連絡先住所	〒 _____	
所属団体名		
電話 / Fax	TEL _____ FAX _____	
E-mail ブロック体ではっきりお 書きください。	_____	
参加費支払方法 ○を付け日付・金額を記 入してください。	1. 郵便振替 月 日（頃） 2. 銀行振込 月 日（頃） 3. 当日払い ※当日払いの場合、受付に時間がかかります。 ☆ お支払金額 ¥ _____	
請 求 書 必要な場合のみ記入	宛 名：	
領 収 書 当日支払の方は必ず記入	宛 名：	
連絡事項		

2005年 月 日